

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370301315
事業所名	「生協あじまの家」グループホーム

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	ホームが借りている畑での作業時に、近所の方々と時節の挨拶を交わしている。毎年10月に保育園児が訪問してくれる。施設の夏祭りには地域の人も訪れ、お茶など提供している。地域に住む生協組合員の自宅で、認知症の出張講座を開いているが、その組合員を核として、近所の住民も講座を聴講に来る。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	家族・生協代表・事務局・地域包括職員をメンバーとし、今年も年6回の開催が確認された。ホームの運営状況が報告されミニ学習会を行っている。8月には実際の看取りの状況が報告され、家族・地域の人々の関心の的となった。家族からは「病院での看取りとホームでの看取りの違いがよくわかった」と、わが身に置き換えて、理解して頂けた。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	生活保護の入居者が居るので、区の保護課職員とは、インフルエンザ接種・受診券受領・担当者による転居確認など連携を取っている。また、地域の生協組合員の要望で、自宅での認知症出張講座を開催しているが、話を聞きつけた近所の人参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族会は年3回開かれ、個別に入居者の個々の要望・ホームへの要望など話して下さる。ホーム便りは毎月入居者ごとに、各行事での笑顔など盛り込んで、近況報告がされている。入居者の状況を、スライドから動画に変えて紹介し、家族からは好評を得ている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
4. 市町村との連携	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○			